



小田小だより

平成30年6月号

〒236-0052 横浜市金沢区富岡西1丁目69番1号

TEL 045(775)3011

<http://www-local.edu.city.yokohama.jp/sch/es/koda/>

横浜市立小田小学校

「当たり前」の大切さ ～練習は本番のように～

学校長 村上 裕江

あじさいの花の色が日ごとに色鮮やかになり雨の季節を感じさせます今日この頃、保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

肌寒い日もあれば、夏のような暑い日もある中ですが、5月、6月は校外に子どもたちが出て、体験の中で学びを深める機会が多くあります。校外での学習は、目的地を往復する過程がすでに重要な学習です。公共交通機関を使う学年は、一般乗客の方々と一緒に集団で乗車することについて、学んだことを実行する機会となります。目的地まで徒歩で向かう学年は、集団で道を歩く場合の歩き方について、交通安全教室等で学んだことを生かす場となります。いずれの場合も、事前に学級や学年で、どのような行動や態度をとることが集団で移動するときにふさわしいかを指導し、子どもたちも、どのような行動がよいかを考えてはいますが、いざ、実際に行動する場面で自分が考えていた通りの行動ができるかは、やってみなくては分かりません。

しかし、日頃の学校生活や、家庭生活、地域の生活の中で確実に実践できていることは、いつでも、どのような場面でも「当たり前」に実行できます。学校生活の中で、廊下や階段の歩き方や、集合した時に静かな雰囲気や、身につけることができるようにしているのは、いつでも、どこでも、子どもたちに「当たり前」にできてほしい行動だからです。アスリートがよく「練習は本番のように。本番は練習のように。」と日頃の練習の大切さを語りますが、学校生活でも同じことです。

小田小学校の子どもたちは、すばやく集合し整然と並び、話をする人の方へ体をしっかり向けて聞く体制が「当たり前」にできています。廊下や階段も、「当たり前」に集団で静かに移動しています。その成果が、6年生の安塚体験学習の往復で乗車した京浜東北線車内での静かな態度や、1年生の遠足での上手な歩き方に現れていました。

「当たり前」にできていることを、続けていくことのエネルギーは、できるようになるまでよりも力が必要です。なぜなら、続けるためには、より進化させて実践できるように工夫していかなければならないからです。教職員一同、力を合わせて「当たり前」のことをこれからも「当たり前」に行っていくための指導、支援を続けて参ります。